

## 総務委員会

委員長 佐藤潤平  
副委員長 平尾稔幸  
副委員長 石塚和彦  
副委員長 宮崎正之  
委員 川村弥恵子

### 1) 2010年度通常総会

2010年4月23日(金) 札幌全日空ホテル

支部総会 : 第1号議案~第6号議案まで説明後、可決承認された。

総会員数189名 総会出席者 124名(内委任状62名)

記念講演 : テーマ 「建築基本法制定に向けて」 講師:松本純一郎副会長

意見交換会 : 賛助会員及び来賓を交えて意見交換会を開催。

### 2) 支部集会及び新年交流会

2010年8月20日(金) 札幌パークホテル 2階

支部集会 : 出席者 正会員43名+賛助会44名 計 87名

テーマ 「JIAの現状について」 法人形態/UIA大会 講師:芦原太郎会長

会員・会費問題 講師:鈴木敏司支部長

2011年1月21日(金) 京王プラザホテル札幌 地下1階

支部集会 : 出席者 正会員49名+賛助会22名 計 71名

テーマ 「北海道建築展 in バルセロナ」報告会 講師:小西彦仁実行委員長

新年交流会:同日、賛助会主催の新年交流会に多数参加する。 計132名

出席者正会員45名+スタッフ4名 賛助会員83名(53社)

### 3) 「上遠野徹先生を偲ぶ会」の事業整理。

6月に出版物送付のため決算が遅れていましたが、特別業務扱いとし本年度で会計整理しましたので、別紙のようにご報告します。(支部会計とは別会計としています)

### 4) 支部総務委員会

支部長・事務局員の交代による諸手続き、及び事務処理。

事務局を8月1日より札幌第2スカイビルに移転。夕方~夜間の暖房問題を解消、鍵の管理がスムーズになり、若干固定費も下げることができました。

### 5) 本部総務委員会

Web会議などで11回の会議に参加。資格に問題のある入会者のチェック、会費滞納者の扱い審議、(入退会)公益社団法人への移行決定による各種規定・規約の検討、(規定整備)本部事務局体制の改革、(事務局体制)赤字会計・決算の改善検討、予算執行とキャッシュフローのチェック、新々PCA会計システムの導入(財務会計)(その他あらゆる情報の整理)理事会への事前検討委員会のような役割を担っています。次年度以降も法人形態移行(全国単一会体制の公益社団法人を目指す)に伴い、本部との繋がりは一層強くなると考えられます。

## 「上遠野 徹先生を偲ぶ会」収支決算書

22,09,02

事業名 「上遠野 徹先生を偲ぶ会」

## 事業概要

名 称	内 容	数 量	単 位	収 入	支 出	備 考	
会場費	ポルト	1	式		42,350		
会場備品	マイク他	1	式		52,410		
会場備品	イス、テーブル他	1	式		1,405		
往復はがき等	会員,賛助は含まず	1	式		27,415		
リーフレット印刷費	500部	1	式		115,710		
花祭壇(大)	ポルト献花台	1	式		105,000		
花祭壇(小)	献花台,ヤサカ	1	式				
献花		1	式				
偲ぶ会看板		1	ヶ所		25,105		
遺影(大)	ｽｰｼﾞ用1800	1	ヶ所				
遺影(小)	献花台,ヤサカ @8,000	1	ヶ所				
広告告知	道新,地方版	1	式		168,099		
蝋燭台加工費		1	式		16,065		
消耗品等	蝋燭台、芳名帳等	1	式		8,070		
新規預け入れ				3,200			
参加費当日分		149	名	447,000		参加費計 1,069,000	
当日分寄付金				25,000			
参加費振込分		199	名	597,000			
寄付金				36,409			
利息				17			
書籍 建築ジャーナルへ	1冊1,575(税込)	347	冊		546,525		
上記振込み手数料					472		
計				1,108,626	1,108,626		

## 職能業務委員会

委員長 齊藤文彦  
副委員長 中原隆一  
副委員長 小倉寛征

本委員会の役割は、

北海道建築設計会議の構成団体幹事

本部業務職能委員会委員

の2つを主に建築家の職能と業務環境の向上を目指し活動している。

北海道建築設計会議は、関係分野の11団体で構成している北海道独自の会議であり、毎月の例会を開催して各団体の横の連絡を密にした活動を実施している。

昨年度は特に各団体の法人化情報や、各会の動きについても情報交換した。

また、「北海道赤レンガ建築賞」の継続をバックアップしている。

なお、本年度にて北海道まちづくり促進協会が解散のため、退会。新たに結成される団体が事業継続ではないが、会議参加の予定。

本部業務職能委員会では、建築基本法への取り組みと設計監理業務報酬基準である新告示15号の運用実態および公共建築の発注方式の再確認についての意見収集があった。

また、7月6日に開催された、開発局・道庁・札幌市と建築3団体の「公共建築懇談会」でも支部からの議題として提出し議論している。

なお、建築設計に起因する訴訟等に関する設計者支援の方策を委員会として模索中である。

今後も建築家の職能と業務の向上を目指し活動していく。

## 広報委員会

委員長 照井康穂

広報委員会は、本年度も昨年度同様、広報担当、システム担当、出版担当、交流担当、に分かれて活動するとともに、システム担当を皆でサポートし、支部ホームページのリニューアルに着手しました。

広報担当 副委員長：日野佳子

委員：大坂崇徳、尾形剛弥、小倉寛征、小杉朋希、高尾浩宣、  
平尾稔幸、湊谷みち代、山内圭吉

- ・ ブログ「Hokkaido Architects 北の建築家たち」の運営。本年度は賛助会の皆様、各委員会担当の方々、ならびに事務局-伊賀さんの協力を得て、昨年度は1回であった更新を、本年度は5回更新することができました。ご協力ありがとうございました。
- ・ 本部発 2010 年度のアニュアルレポート・北海道支部の支部活動年次報告は、誌面での公表とはならない様子です。皆様に戴きました原稿は本部からの要請が有り次第、提出できるよう準備してあります。
- ・ 役員会議及び各委員会・部会活動の情報集約として「役員MG」の円滑な運営を継続しています。

HP システム担当 副委員長：大塚達也

委員：石塚和彦、沢田貞和

- ・ 昨年度までは支部ホームページの『What's News』を中心に月平均3~4回程度更新作業を行っていましたが、本年度からは事務局の伊賀さんに更新作業をしていただくようシステムを変更しました。この結果、更新頻度が増し、セミナー・講演会・CPDのお知らせなど会員への情報発信が迅速にできるようになりました。
- ・ 昨年度より準備をすすめてまいりました、支部ホームページのリニューアルに、本年度は本格的に着手致しました。今回のリニューアルの目的は、あらためて支部のホームページを一般の方々も見やすく親しみやすいものにすることです。平成23年5月中旬頃の公開を目指し、鋭意検討作業を継続しております。今後、会員並びに賛助会の皆様にはデータ資料のご提供等をお願いすることになるかと思しますので、何卒ご協力を賜われれば幸いです。

出版担当 副委員長：岡田順博

委員：大杉崇、灘本幸子、大田司

- ・ 本年度から新しい副委員長のもと、これまでに出版しました「北の建築家カタログ 北の住まいを建築家とつくりよう」の販売管理を継続的に行ってまいりました。  
昨年度出版致しましたVOL4の正確に把握できる販売数は、平成23年4月6日現在、331冊でございます。
- ・ 次回VOL5の製作時期の検討を始めました。

交流担当 委員：勇田常夫、沢田貞和

本年度も昨年度同様「北海道デザイン系団体情報交流」メーリングリストを利用しての、各団体主催行事の案内に留まりました。今後、交流の場を設けることも必要と思われます。

## 事業委員会

委員長 小杉 朋希  
副委員長 山内 圭吉  
副委員長 十河 昌司

### 1) 建築展・講演会

従前の行事の継承事業を行いつつ新たな企画としての「建築家パネル展」を開催した。

- ・7月1日 2010年第1回ナイトフォーラム 建築家 八木利喜彌 講演会 約30名参加
- ・7月14日 第6回建築を伝えるセミナー 建築家 吉田宏 講演会 約30名参加
- ・7月30日 第17回 AIJ+JIA ジョイントセミナー 建築家 山田良 講演会 約30名参加
- ・10月2,3日 札幌市イベント ミニ札幌 参加
- ・10月28日 支部 UIA プレ企画「バルセロナ展」広報企画 会場 (株)内田洋行 U-cala
- ・10月29日 U-40 建築家セミナー 大光電機(株)協賛 第一部講演会：建築家 山下保博  
第二部パネルディスカッション 北海道支部より遠藤謙一良・照井保穂・堀尾浩  
約80名参加
- ・10月29-31日 北海道の建築家パネル展「北の街をデザインする」開催  
大光電機ライティングコアにて 出展会員30名
- ・11月26日 JIA 建築家セミナー (株)ABC 商会協賛 建築家・建築史家 藤森照信  
会場 STV ホール 約250名参加
- ・2月16日 第18回 AIJ+JIA ジョイントセミナー 大学教授 星野政幸 講演会 約30名参加
- ・3月4日 第7回建築を伝えるセミナー 建築家 後藤達也 講演会 約40名参加

来年の UIA 世界大会に向けた支部のイベントとしての「バルセロナ展」が10月に重なったため、建築を伝えるセミナー等の小規模イベントがこの時期手薄になってしまった。

講演会開催に関しては本年度から教育委員会が事業委員会と統合されたため、事業委員会運営が密度の濃いものとなっており、組織としての拡充が求められる。

### 2) 第3回テスクチャレンジコンペ

過去2回行われてきた J I A と(株)テスク共同主催の設計コンペに関して、J I A 組織として正式な形で開催するにあたって、事業委員会が受け皿となり来年度開催に向けて調整中。

旭川地区

委員長 軽部 望  
副委員長 北島 宏

1 ) 2011/2/4 講演会「2011木製サッシフォーラム」 協賛 CPD 認定プログラム  
講師：北海道水産林務部、北方建築総合研究所、林産試験場他

2 ) 2011/2/15 発表会 第21回旭川建築作品発表会共催  
第1部：卒業設計発表～北海道旭川工業高等学校 建築科  
～東海大学 建築・環境デザイン学科  
第2部：一般設計発表～柳雅人建築設計工房  
～山下設計北海道支社

通年 支部会議の参加と旭川会への報告・意見聴取  
通年 新入会員の発掘

道東地区

委員長 小野寺 一彦  
副委員長 眞壁 喜男

道東地区の今年度の活動は特にありませんでした。

函館地区

委員長 塚田 俊  
副委員長 小澤 武

1) 今年度は、委員会が行われませんでした。

尚、各会員は、函館競馬場、箱館奉行所、函館市縄文文化交流センターの見学会に参加をしています。

-----建築技術デザイン委員会-----

委員長：小室雅伸

1) H K アワード：北海鋼機(株)と J I A 北海道支部の共催で鋼板等の魅力を広く伝え次世代へと繋がるデザインを顕彰する H K アワードを創設した。(担当：照井 康穂)  
最優秀賞 1 点 副賞 20 万円、優秀賞 2 点副賞 5 万円、表彰式は 2011 年 4 月の支部総会にて行う。

第 1 回目は、審査員長に小澤丈夫(北海道大学准教授) 審査委員に加藤勝弘北海鋼機(株)代表取締役社長、洞内 俊北海道板金工業組合理事長、鈴木敏司北海道支部長及び小室雅伸。2005 年 4 月 1 日から 2010 年 12 月 15 日までに竣工した北海道内の建築作品を対象に募集し、57 点の応募があり、2011 年 1 月 24 日に第 1 次審査を行い 6 点を選出、4 月 9、10 日に現地審査を行って決定する。

## 2) 環境省エコハウスモデル事業

JIA 全国大会 2010 九州にて、全国 20 のエコハウスについてのシンポジウムが開催され、下川町及び美幌町のエコハウスは建築環境性能とデザインの高度な融合に対し極めて高い評価を受けた。下川町エコハウスは住居建築として初めて北海道赤レンガ建築奨励賞を受賞した。両施設は体験宿泊見学に解放され多くの見学者が訪れているが、2011 年 2 月に行った J I A 環境行動ラボ全国委員の見学会では実体験せねば分からない「環境性能の意味・役割」について大きなインパクトを与えることになった。

2011 年 1 月～3 月には全 20 ヶ所の計測調査を行い、詳細レポートとして今後発表される。

(小室雅伸)

## 登録建築家 支部資格制度委員会

委員長：中藪 則喜 副委員長：羽柴 功一  
委員：山之内 裕一、澤 康昌、大田 司

### 本部資格制度委員会とのWEB会議

- ・2011年2月8日 事務局にて。  
支部資格制度委員会の状況と種々の諸問題について協議しました。

### 実務訓練部会

- ・登録建築家の実務訓練部会を支部資格制度委員会のWGと位置付けました。
- ・2010年9月1日に第12回実務訓練部会（WEB会議）を行い実務訓練の現状と今後の方針について協議しました。
- ・9月末までの募集で北海道支部において、2名の実務訓練参加申請がありました。

### 第7回登録建築家更新審査

2011年2・3月には、第7回の登録建築家更新審査を行いました。  
今回の更新予定者は北海道支部全体で、予定者41名ですが、実際に更新の手続きをされたのは30名で更新率は73%でした。

2月25日、3月2日、3月8日の3日に渡り、申請内容の確認を支部資格制度委員会で行い、支部認定評議会を3月10日に行いました。評議会では、30名全員の更新要件審査を行い、3月末までのCPD取得予定も含めて、支部としては登録に問題はないと判断し、本部認定評議会へ審査結果を送付しています。

又、今回からCPDの単位が次に示すように変更になりました。

- ・一級建築士定期講習受講 24単位（倫理・法令分野）
- ・実務訓練指導監督者の実務訓練報告書提出1件につき 18単位

### 登録建築家の新規認定審査

登録建築家オープン化後北海道支部では初めてJIA会員以外から1名の登録申請がありました。上記更新審査と同日程で審査を行い、支部としては問題なしと判断して、本部認定評議会へ審査結果を送付しています。

残念ながら今回は、JIA会員からの申請がありませんでした。この制度を確立・発展させるために、資格のある会員は、ぜひとも資格取得をしていただきたいと思います。

以上、2010年度、登録建築家支部資格制度委員会の活動報告です。

建築相談委員会

委員長 奈良 顕子  
副委員長 國澤 全克

建築相談室では、2010年度内に15件の電話相談を受けています。

## 災害対策委員会

委員長 笹栗 達夫  
副委員長 山道富美男

北海道の「北海道震災建築物応急危険度判定連絡協議会」の対応とJIA災害対策委員会の支部窓口の委員会です。

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などの震災が多くの被害をもたらし、多くの貴重な教訓を残しました、被災建築物による二次的被害を防止・軽減するための「応急危険度判定」が重要とされ、平成7年度以降、震災建築物応急危険度判定士の認定・登録や全国の判定協議会と連携が行われ、北海道でも各支庁の協議会や建築関連団体が協力して相互支援の連絡協議会の早期の設立が求められ「北海道震災建築物応急危険度判定連絡協議会」は2006年2月より活動をはじめています。

### 10年度活動報告

今年度は北海道震災建築物応急危険度判定連絡協議会がありませんでした。

「北海道建築展 in バルセロナ」

10.11.03 ~ 12.11

U I A 2 0 1 1 東京大会の記念事業として J I A 北海道支部では 2010 年 11 月 3 日 ~ 12 月 11 日まで、スペインバルセロナ市内のカタルニャ建築家協会ビル内にあるピカソホールにおいて北海道の建築家による作品展を開催。92 名の建築家が各自の作品を A 1 パネルにまとめて出展し、会期中には 4 千数百名の入場があったとの報告を受けました。日本のそして北海道の建築にバルセロナの市民が興味を持っていただいたことに感謝です。現地でのオープニングには北海道の建築家およびその関係者が 27 名参加してバルセロナの建築家たちと交流し熱い歓迎を受けました。

2011 年の今年は U I A 東京大会そして北海道ではスペイン建築展・それから我々のスペイン凱旋展と盛りだくさんの行事が続きます。

## 全国学生卒業設計コンクール実行委員会

委員長 伊達 昌広

### 1) JIA 全国学生卒業設計コンクール 2010

毎月の WEB 会議を行ない、全国 JIA の担当者の協力のもと自主費用により、新宿アイランドタワーBF1F・アクアプラザにおいて JIA 全国学生卒業設計コンクール 2010 開催致しました。

北海道支部から選出された 3 名、伊達紗央里さん、堀内敬太君(北海学園大学)、永島健児君(北海道大学)が参加おしくも入賞はなりませんでしたが、1 次審査を伊達さん、堀内君が通過を果たしました。各支部、地域会から選出された全国の作品を前に審査員、各支部地域会担当者、学生達が真剣な議論と評価を繰り返す、建築家が選ぶコンクールは、学生達の心に残る、全国で試される良いコンクールでした。

2010 年 10 月 29 日(金)作品搬入

10 月 30 日(土)公開審査、講評、表彰、懇親会

10 月 31 日(日)展示会、作品搬出

審査委員 山本理顕(審査委員長)、浅石優、トム・ヘネガン、平田晃久、佐藤淳(敬称略)

### 2) 全国学生卒業設計コンクール 2011 審査経過

2011 年 1 月 19 日(水)ワーキンググループにて日程、各大学、高専、短大、専門学校に案内を発送

3 月 02 日(火)ワーキンググループにて審査員を確定

審査員長 平尾 稔幸(平尾建築事務所) JIA 会員

審査員 山内 圭吉(山内圭吉建築研究所) JIA 会員

小杉 朋希(こすぎ建築計画室) JIA 会員

鈴木 理 (鈴木理アトリエ) JIA 会員

以上の四氏による審査を決定

3 月 19 日(土) STV 北 2 条ビル B1F 会議室において公開審査にて厳正な審査の基、審査員の投票結果をもとに協議し、金賞 1 点、銀賞 1 点、銅賞 1 点、審査員特別賞 2 点選出。

4 月 22 日(金) JIA 北海道支部総会において金賞、銀賞、銅賞の表彰状を授与予定。

## 選挙管理委員会

委員長 橋本 敏明

支部幹事および監査改選選挙を実施。2011年度は支部幹事22名のうち12名がまた支部監査2名のうち1名が任期満了につき改選となる。3月8日第1回告示を行った。立候補の届け出締切期日までに所定の立候補者の届け出が無かったため、3月18日第2回告示を行った。締切期日までに定員の立候補届け出があり受理した。資格審査の結果、全員適合だったので次期幹事および次期監査として当選人に決定した。

## 支部規約検討委員会

委員長 橋本 敏明

今年度は、規約等改定は行わなかった。

## 住宅部会

住宅部会代表世話人	石塚	和彦
副代表世話人	赤坂	真一郎
会計世話人	小尾	慎
広報世話人	大坂	崇徳
IT世話人	鷺見	健二
世話人	大杉	崇
	:	小杉 朋希
	:	新貝 孝之
	:	灘本 幸子
	:	堀尾 浩
	:	森 徳彦
監査	真壁	喜男

- 2010年6月10日 住宅部会総会開催
- 6月22日 第1回世話人会打合せ
- 6月29日 住宅賞選考委員会打合せ  
選考委員 山之内裕一・宮崎正之・森 徳彦  
堀尾 浩・五十嵐淳
- 7月27日 第2回世話人会打合せ
- 8月 6日 住宅賞公開レビュー（内田洋行北海道支社1階 ユーカラ）  
（アカシア賞1作品、フキノトウ賞7作品、ハルニレ賞7作品）
- 8月31日 住宅賞発表 ハルニレ賞 フツウ・ノイエ 赤坂 真一郎  
フキノトウ賞 熊谷邸 久野 浩志  
アカシヤ賞 該当なし  
キタコブシ賞 竹山 実
- 9月24日 北海鋼機JIAブランドワーキンググループ第1回打合せ
- 10月21日 北海鋼機工場見学（WGメンバー）
- 11月23日 第3回世話人会打合せ
- 12月 6日 北海鋼機JIAブランドワーキンググループ第2回打合せ
- 12月15日 住宅賞授賞式（KBビル5階（画工房）ケニー・バレル）
- 12月15日 住宅部会忘年会および受賞作品レビュー
- 1月19日 北海鋼機JIAブランドワーキンググループ第3回打合せ
- 3月11日 住宅賞巡回展（住宅リフォームフェア in とかち とかちプラザ）
- 3月25日 北海鋼機JIAブランドワーキンググループ第4回打合せ

以上が2010年度の住宅部会の活動となります。

2011年度は住宅賞の継続はもちろんのこと、UIA世界住宅会議への参加・住宅賞巡回展の本格化・北海鋼機JIAブランド商品化など、会員の皆様も参加できる幅広い活動を考え、進めていきます。

## 環境部会

環境部会代表世話人 山本 亜耕

### 第二回JIA「テスクチャレンジ設計コンペ」

昨年に引き続き第二回のテスクチャレンジ設計コンペを開催しました。課題は「**北海道の森と建築～暮らし・資源・生命・観光などとも共振する空間～**」です。近年環境を語る上で身近な森林との関わりが大きく見直されています。北海道は道民一人当たりの森林面積が約1ヘクタール/人という恵まれた土地柄にも関わらず、エネルギーをはじめ建材のほとんどを海外に頼っている状況です。CO2や冷暖房エネルギー削減を目指して外断熱を中心にさまざまな環境的な提案を行っている(株)テスクとの共催で行う環境型設計競技として今後も着実に育ててゆきたいと思っています。 公開審査の様子

JIA北海道支部 コンペ実行委員長 橋本敏明

日時 2010年3月19日(金) 14:00～17:00

場所 KBビル 5階(札幌市中央区大通西20丁目3 画工房内)

審査 委員長 米田浩志 (北海学園大学工学部建築学科教授)

委員 豊島 守 (JIA北海道支部長)

代理 上遠野克(JIA副支部長)

丹 征吉 (株式会社テスク代表取締役社長)

遠藤謙一良(JIA北海道支部 幹事長)

藤島 喬 (JIA北海道支部 対外交流委員長)

山本亜耕 (JIA北海道支部 環境部会代表世話人)

照井康穂 (JIA北海道支部 環境部会副代表世話人)

齊籐文彦 (JIA北海道支部 職能業務副委員長)

橋本敏明 (JIA北海道支部 コンペ実行委員長)

平尾稔幸 (JIA北海道支部 コンペ実行委員)

### 入 賞

最優秀賞「けものみちのうえのいえ」高橋一正(株)二本柳慶一建築研究所)

優秀賞 「知覚の森」太田宏生(株)画工房)

優秀賞 「森・トラス・都市」富谷洋介(株)遠藤建築アトリエ)

3月19日に公開審査が開催はKBビル5階にて、パネルを前に行われました。応募作品は、森の環境を題材として具体的な建築空間、森を使って行われる社会システムの提案、コンセプチャルな提案などなど個性豊かな作品がそろいました。公開審査は、一般傍聴者が見守る中、審査委員長の司会のもと各委員がそれぞれの作品の評価を挙げながら、4段階の投票を経て最優秀賞1名、優秀賞2名を選びました。表彰式は、北海道支部の新年交礼

